

ホラッ 11月の

屋外園が呼んでいますよ！！

京都市青少年科学センター

リュウキュウアサギマダラ
の幼虫の食草



ツルモウリンカ (キョウチクトウ科)

常緑つる性の多年草で、南九州以南～琉球列島に分布しており、日当たりのよい海岸の崖地や草地に生育し、5～10月に開花します。葉は対生し、卵状楕円形～長楕円形で、裏面は淡い白緑色です。花冠は淡黄色で、星形、あるいはヒトデ形でたくさんつけます。果実は、V字形の細長いふさで、先端が細く尖り、中には白い絹糸状の冠毛を持った種子が入っています。チョウの家のリュウキュウアサギマダラの唯一の食草ですので、1年を通して温室で育てています。



リュウキュウアサギマダラの蛹 (左) と成虫 (右)



屋外園の散策にご自由にお使いください。 使い終わったら もとにもどしてください。

色づく木々 屋外園には、イチヨウ、モミジバフウ、イロハカエデ、ナンキンハゼなどの木の葉が色づき、カリン、ムクロジ、センダン、トウネズミモチには木の実ができています。さがしてみましょう！



キイジョウロウホトトギス (ユリ科)



ジョウロウホトトギスは、太平洋側の地域に特産する種類で、山地の溪谷の湿った岩場や崖に見られます。

ホトトギス (ユリ科)

花びらの紫色の斑点模様が野鳥のホトトギスの胸の毛に似ています。

ムクロジ (ムクロジ科)

落葉高木。葉は黄色になります。果実は球形で中に黒い種子が1個あり、羽根つきの球にします。果皮にはサポニンという物質が含まれており石鹸の代用にしました。

カツラ (カツラ科)

溪流沿いなどによく生え、春の新緑、秋の黄葉ともに美しく、大木になります。葉はハート形で、京都市の木です。

コウテイダリア (キク科)

木立ダリアともいわれ、成長すると3～4mにもなります。ピンク色の大きな花を咲かせます。

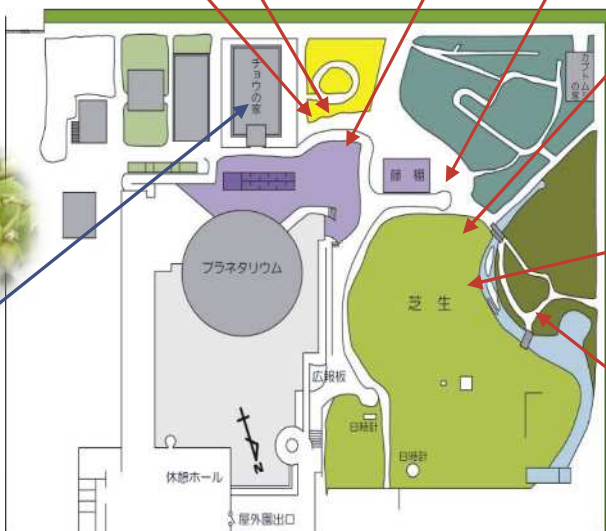


モミジバフウ (フウ科、旧マンサク科)

街路樹、公園樹として用いられます。果実はリースの飾りに使います。

カリン (バラ科)

中国原産。黄色い果実には芳香があり、生食はできませんが、砂糖漬けや果実酒に使われます。



屋外園の散策に ご自由にお使いください。 使い終わったら もとにもどしてください。

11月

花だより

京都市青少年科学センター



紅葉と 木の実

